

◆ 福島県への緊急支援要請 ◆



TOPICS

- ・ 福島県及び市町村への緊急支援要請について ②
- ・ 酪農経営のヒント ⑥～⑦
- ・ “夏の思い出” (特派員報告) ⑪

福島県及び市町村への緊急支援要請の実施



七月二十二日福島県庁において県議会正副議長と県農林水産部長へ県畜産団体連絡協議会として「令和四年度畜産振興に関する緊急要望書」を提出してきました。

現在の畜産経営は円安、ウクライナ情勢、原油高、コロナ禍等の外的な要因で、不安定化な国際情勢を背景に、度重なる流通飼料の値上げ、有事に匹敵するあらゆる生産資材の高騰から、今までにない厳しい経営となっており、再生産できる状況にないことを説明してきました。

また、七月下旬には懸案だった取引乳価が決定されました。しかし十一月取引分からの期中改定であり、生産コスト上昇分を賄うには到底及ばないことから、本組合として各地区の理事・監事と地区運営委員・組合員と本所から組合長・常務・部長が分担し組合員が在籍する二十九市町村を訪問し、厳しい酪農情勢についてご理解を賜り財政支援を切にお願いして参りました。要請にご同行いただいた役員・組合員・職員の皆さま本当にありがとうございました。

なお、本要請により福島県からは九月の補正予算で輸入粗飼料価格高騰への緊急支援として、計当たり五千円の対策が発表されました。九月定例県議会可決後に事業申請となりますので、追って正式に連絡いたします。

販売課

血乳の混入に注意しましょう!!

【血乳の原因】

1. 内因性（生理的）な原因

分娩直後の泌乳開始時期の急激な乳房の腫脹により乳房内の血管が拡張、破綻し血液が漏出するもの。

乳房炎や周産期病（ケトーシス、低カルシウム病、産褥熱など）を併発している場合が多い。

要因として酸化ストレスが関与しています。

2. 外傷性（ケガ）の原因

ぶつかる、転ぶ、踏まれるなどにより乳房内の血液が損傷し出血するもの。

【血乳を出荷しないためには・・・】

1. 搾乳時に乳房・乳頭の状態や前搾り乳を確認

⇒異常があればバケットミルカー又はクォーターミルカーで別搾乳をする。

2. 搾乳終了後、ミルカー洗浄前に必ずミルクフィルターの血痕有無を確認

⇒血痕があればバルク乳のサンプルを採取し視覚検査すること！

3. 泌乳初期の牛の搾乳には注意して対応（ミルクフィルターに問題がなくても良く確認を！）

【血乳を合乳したかも...？】

バルクを目視で確認し、生乳の色沢に異常が見られなくても、決して自身で判断することなく、生産部販売課までご連絡下さい。遠心分離機にて血液の混入を検査させていただきます。

**日々の生乳生産管理チェックシートの記帳と確認が生乳廃棄事故防止にも繋がりますので、記録状況を今一度ご確認くださいませよう
お願いいたします。**

FD24会 第26回通常総会を開催

第26回FD24会 通常総会



去る7月26日、福島県酪農業協同組合本所にて26回目となるFD24会（会長 中野目正明）の通常総会を開催しました。

今回は通常開催という事で会員13名の出席と、県酪農協から紺野組合長と佐藤常務が来賓として出席頂き、表彰についても対象者へ授与を行いました。最高位出荷者に雪割牧場(有)をはじめ、上位出荷者9名と103%基準達成出荷者11名には記念品と賞状が贈られました。

議事では議長にミネロファームの吾妻雄一郎氏が選任され、提出された議案は全て可決・承認となりました。

また、最後にこの総会を以って事務局が購買畜産課から組織振興室へ移管となり、新たな担当として角田弘樹（かくたひろき）氏が紹介されました。

総会終了後には本宮のアサヒビール園にて久しぶりの懇親会が開催され、会員同士で近況報告や最新の情報交換をして有意義な時間を過ごし、盛会にて終了致しました。

今後開催を予定している婦人部研修ですが、県内の高級レストランで食事会など多くの方が参加いただける様なプランを企画中です。新型コロナの感染状況が落ち着き次第、直ぐに実施したいと考えていますので、楽しみにお待ちいただければと思います。

令和 4 年度福島県酪新人職員研修

8月2日～4日の3日間で福島県酪職員4名と全酪連の職員2名を対象に、全酪連札幌支所の技術顧問 中田悦男先生を迎えて研修を行いました。今年度の研修参加者は以下の通りです。

《購買畜産課》

- ・渡邊 真樹 (R4年度新入職員)
- ・朝倉 郁也 (R4年度新入職員)
- ・鈴木和日葉 (R4年度新入職員)

《指導推進課》

- ・坂本あゆみ

《全酪連仙台支所》

- ・米須 智加
- ・齋藤真之介

研修では乳質改善のポイントやカウコンフォートについて、牛舎を訪問した際に見るべきポイントなど酪農に関することを幅広く学ぶことができました。1日目と3日目は座学でしたが、2日目には石筵の橋本幸治牧場にご協力いただき、研修を行いました。座学で学んだことを基に牛舎や処理室などを見せていただき、良い点や改善できる点を先生や今回対応してくださった橋本幸太郎さんと現場で話し合うことができました。普段は事務所勤務で牛にかかわる機会が少ない職員も、実際に牛舎を訪問することで、より専門的な知識を身に着けることができました。

研修は3日間でしたが、豊富な知識を得ることができる貴重な機会になりました。専門農協の職員として、今回の研修で身に着けたことを今後の業務に活かしていきたいと思います。

(報告者：坂本)



推進課コラム

9月

酪農経営のヒント～A牧場へインタビュー～

6月号の指導推進課コラムにおいて「酪農経営のヒント」と題して、コスト増の中でも乳代を残し、決算においてもフリーキャッシュを残している農家さんについて紹介いたしました。

今月は6月号にて紹介させていただいたA牧場の経営について深掘りしていきたいと思います。

	経産牛 頭数	育成 保有 率 (%)	経産牛 年間 乳量 (kg)	乳 飼 比 (%)	経産牛 1頭 あたり フリー キャッシュ (円)	収入に 占める 個体 販売 割合 (%)
A牧場	40	44	10,776	58	522,816	9

経産牛乳量が10,000kgを超えておりとても乳量が出ていますね。

だいたいA牧場さんの搾乳牛頭数で考えると年間を通して1頭あたり毎日33kgは出ている計算ですね。何か乳量を出す秘訣があるんでしょうか？



※経産牛乳量10,000kg以上とは2021年組合出荷者の中で14%の方が該当されます



ありがとうございます。年間通して毎日1200kgの乳量を出荷することを目指しています。

特別なことは特にしていないつもりですが、組合の獣医の先生にも尽力いただいて繁殖状態を良好に保ったうえでなるべく牛を長持ちさせることを意識しています。

なるほど。実際に**死亡率も7%**と低く、決算書の廃牛売却原価も経産牛1頭当りで約12,000円となっていますので、牛を長持ちさせていることがわかりますね。



※R3年DMS実施農家さんの死亡率平均は11%、経産牛1頭当りの廃牛売却原価平均は50,795円となっています



そうですね。なるべく4年間の償却を終えてから牛舎から出すことを心がけています。死亡牛についてもなるべく周産期での死亡をなくし、泌乳最盛期牛のロスを減らすことに気を付けています。

また現在平均産次は2.8産ですが、やはり4産5産とお産をうまく重ねられれば牛も成熟するので、年間10,000kgを達成できる要因のひとつになっているのかと思います。

平均産次を重ねると事故や体細胞数のコントロールも難しくなるかと思いますが、その点についてはどのようにカバーしているのでしょうか？





体細胞のコントロールについてはやはり難しいところで、なんとかバルクで20～30万の数字で抑えるところに至っています。ただもうひとつのこだわりは、搾乳終わりのワラ敷きを豊富にしてあげること、牛が清潔な環境でゆっくりと休めるようにしています。労働人数も両親と嫁さんを加えて**4人での作業**ですので、**牛の体調の異変にもすぐに気づけるよう細心の注意**を払っています。

※A牧場さんでは年間15町歩からワラ集めをおこなっているとのことですが

なるほど。確かに雇人費も低く抑えられていますね。乳飼比は59%とそこまで低くはないと思うのですが、自給飼料の作付けは行っているのでしょうか？



牧草の作付けを行っていますが、通年給与するだけの面積がないので3番まで刈り取りを行いなるべく自給率を高めています。また育成牛もいるため夏は1番草を給与し、冬は2・3番草と地域で作っている稲WCSの給与を行っています。ただし牧草等はブレがありますのでその他輸入乾草も通年使用しています。そのため乳飼比でみるとそこまで低い数字ではないのですが、**なるべく国産飼料も使いながら飼料費を削減**できるように努めています。

最後に経産牛1頭当りの診療衛生費が約65,000円と高めであることが気にかかったのですが、こういった要因なのでしょうか？

※R3年DMS実施農家さんの経産牛1頭当りの診療衛生費平均は40,885円となっています



決算書の診療衛生費についてはディッピング剤などの衛材も計上されていますが、確かに**授精や治療等獣医さんへの依頼は積極的に行っています**。もちろんかかる経費は少なければよいのですがさきほど話したように**通年で繁殖状態を良好に保つことが結果的に安定した分娩の確保につながりますし、治療は牛を長持ちさせることにつながります**。

なるほど。ご家族での牛舎作業によって目を多く、長い時間を牛にかけることで、異変をすぐに見つけられるという話に戻ってくるのですね。



本日はA牧場さんに経営の中身をインタビューさせていただきました。A牧場さんでは**死亡率を減らすことで（特に周産期）**、泌乳最盛期の乳量を失わず、牛群も成熟させることにより10,000kg牛群を維持されていました。飼料についても安価な国産飼料や栄養不足分を補う輸入乾草を使用することで生産性をなるべく落とさないラインでの飼料組みをされていましたが、根底には自給牧草を用いた**飼料自給率を少しでも高める努力**が見られました。**牛を長持ちさせることとそのための経費を積極的にかけていくこと**、また飼料自給率の底上げは昨今のような情勢下でも特に大切であると思います。本日は最後までありがとうございました。

全酪連の小窓 9月号 ～蹄病予防～

暑さが和らぎ、過ごしやすい時期になってきました。収穫作業が始まり、お忙しいと思いますが、牛にとって9月は暑熱ストレスの影響が尾を引く時期でもあります。特に蹄病は早期発見が重要になりますので、牛の状態には注視していただきたいと思います。今回は蹄病についてです。

◎蹄病について

蹄病は、乳房炎や繁殖障害とともに、乳牛の3大疾病と呼ばれています。その中でも、**肢蹄疾患は乳房炎や繁殖病と比べて見逃しやすく、発見が遅れてしまいがち**です。発見が遅れると、繁殖成績や乳量低下、周産期病リスクや過肥の増加などに陥り、廃用へとつながる可能性が高くなります。そのため早期発見・早期治療が必要です。

◎蹄病の種類

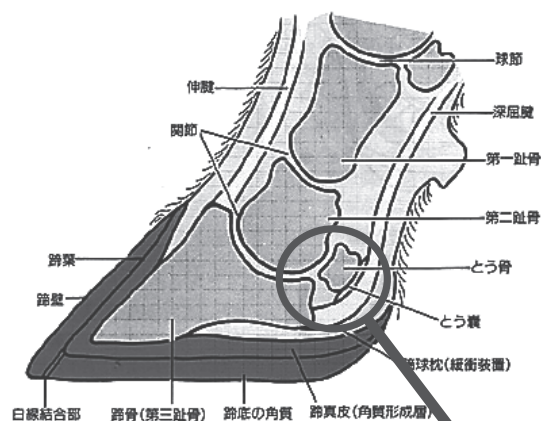
蹄病は大きく2つに分類されます。

◎蹄角質の異常—外傷や栄養の偏りが原因

- ・ 潜在性蹄葉炎
- ・ 角質形成不全（蹄底潰瘍、白帯病）
- ・ 蹄球びらん

◎蹄皮膚の異常—不衛生や細菌による感染が原因

- ・ 蹄皮膚炎（DD）
- ・ 趾間フレグモーネ
- ・ 趾間皮膚炎
- ・ 趾間過形成



傷みやすい箇所

- ①蹄が伸びる
- ②蹄の重心が後ろに傾く
- ③重心が後ろへ
- ④この部分が圧迫される

◎予防・対策

牛の安楽性

- ・過削蹄
- ・コンクリートでの長時間起立
- ・硬い凹凸面での歩行

飼養環境

- ・移行期のダメージ
- ・飼料の急変
- ・濃厚飼料の増給
- ・急激な増給

衛生・細菌

- ・湿潤或不衛生な牛床環境
- ・疾病牛からの伝染
- ・感染牛の導入

蹄底の負傷

アシドーシス

趾間隙からの感染

①負傷しない環境整備

- ・滑りにくい平らな床
- ・石や障害物の除去

②アシドーシスの回避

- ・飼料設計による給与内容の見直し
- ・十分な飲水

③定期的な削蹄

①清潔で乾燥した環境

- ②抗生物質の投与
- ③局所洗浄や蹄浴
- ④定期的な削蹄

蹄病は、1ヶ月半～2ヶ月前の状態を示しています。削蹄の際に蹄病を発見した場合は、その時期に変化がなかったか確認してみてください。

また、牛は暑熱ストレスを受けると起立時間が長くなり、涼しい時間に固め食いする傾向からアシドーシスのリスクが高くなります。そのため秋口での蹄病の発見が多くなるので、早期発見に努めましょう！



給与方法や給餌メニューでご不明点がございましたら、全酪連スタッフや県酪職員へご相談ください！

ZENRAKUREN

 Your Partner 全酪連

ZENOAQ コーナー Vol.213



健康な子牛を 育てるため ～哺育管理～

〒963-0196

福島県郡山市安積町笹川字平の上1-1

日本全薬工業(株) 福島営業所

TEL024-945-2306 FAX024-945-9345

初乳給与で意識すべき点

①初乳の質（IgG含量） ②初乳給与量 ③初乳給与のタイミング

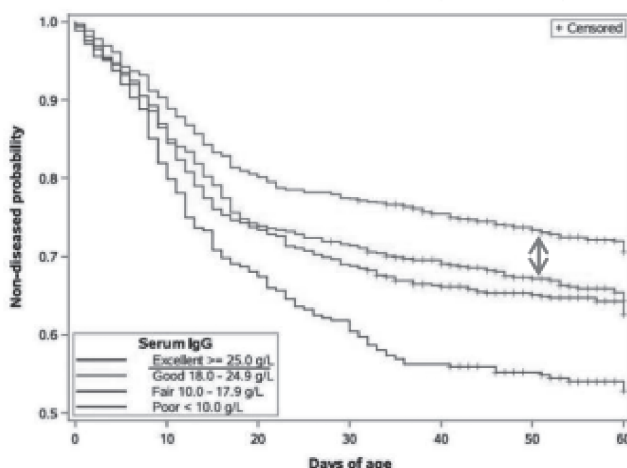
疾病率・死亡率を軽減させるためには、上記の①～③に大きく影響を受けます。最終的には血清IgG濃度の違いによって発育が左右されます。

◎出生24時間から7日齢未満の血清IgG濃度の違い！

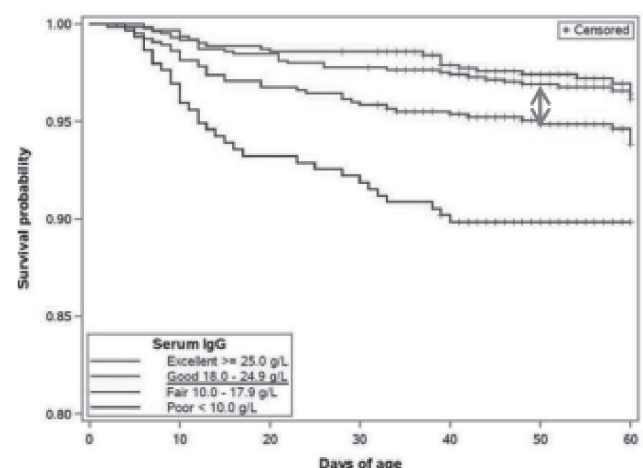
疾病率：血清IgG濃度25g/Lを境に疾病率が下がる

死亡率：血清IgG濃度18g/Lを境に死亡率が下がる

子牛の無疾患率（健全性）



子牛の生存率



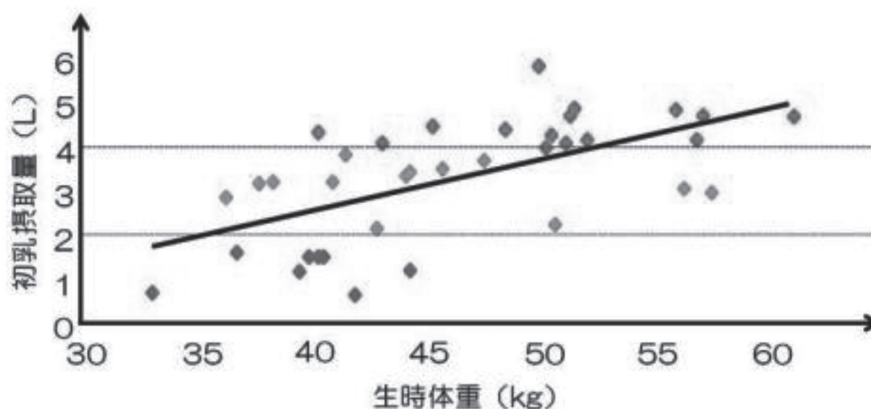
子牛の疾病、死亡率を下げるには？

- ・初乳中IgG濃度：80g/L以上（Brix値で25%以上）
- ・3Lの初乳を生後3時間以内に給与する

ただし、当然ながら飼養環境をいつも綺麗に保つことが重要です！

◎生後3時間で初乳を飲ませる為には生時体重を適正にする

初乳摂取量と生時体重 (Vasseur et al., 2009)



赤：初乳摂取量4L以上
 緑：初乳摂取量2-4L
 青：初乳摂取量2L以下

生時体重が小さい程、初乳を摂取できない

◎まとめ

- ①母牛のコンディション=子牛のコンディション
 移行期（分娩前3週間）の飼養管理は子牛のパフォーマンスに影響を与える！生時体重をコントロールする！
- ②初乳と移行乳で子牛の能力は決まる
 出生後最初に摂取する初乳、移行乳、哺乳量が子牛の能力と腸管機能発達に影響する
- ③標準哺乳と高栄養哺乳プログラムの考え方
 高栄養哺乳は初期投資、健全性と後にメリット
- ④遺伝的能力を活かすも殺すも環境次第



初乳製剤
 カーフサポートマックス

よくとけて。おいしさマックス

詳しくはゼノアックススタッフに問い合わせください

令和4年度7月別支払乳価表

今月のプール乳価・補給金・集送乳調整金を含めた支払乳価は、前年より44銭2厘下回る単価となりました。

全国の新型コロナ感染者数が減ることが、人・物が今までとおり動き出し、経済も回復し、結果、牛乳・乳製品の消費回復と乳価が上がるにつながっていますが、「第7波」により過去最多の感染が報告されています。また、新型コロナウイルスによる死者数は、「第7波」が始まって以降増加傾向が続き、全国で一日に報告される死者数はこの1週間、200人を超える状態が続いており、8月23日の全国で報告された新型コロナウイルスによる死者数は343人と、これまでで最も多くなりました。引き続き感染症対策を徹底し、皆さんで新型コロナが終息するまで頑張りましょう。医療従事者皆様のご苦勞に深く感謝申し上げます。

■東北全体プール乳代金 4,411,773千円 単価109.401円
 ■内 福島県分プール乳代金① 500,554千円 単価109.401円
 プール対象外乳代金② 62,636千円
 (学乳向け・買取向け乳代金)

合計乳代金①+② 563,189千円 単価112.204円				
項 目	令和4年7月	前年同月	増 減	前々年同月
プール乳価	109円894	110円567	-0円673	112円667
補給金単価	1円057	0円881	0円176	0円734
集送乳調整金単価	0円331	0円276	0円055	0円224
合 計	111円282	111円724	-0円442	113円625

(注) 上記合計は、脂肪率3.5%・無脂固形率8.3%の補給金込みの乳価。

(東北全体7月)

用 途 別	販売乳量 (トン)	日 量 (トン)	前年比 (%)	シェア (%)	前年度 シェア
飲用向け	27,710	894.0	96.1	65.9	69.0
加工向け	4,680	151.0	121.2	11.1	9.2
学校給食向け	1,731	56.0	94.9	4.1	4.4
醗酵乳向け	7,205	232.0	108.6	17.1	15.9
生クリーム向け	606	20.0	119.2	1.4	1.2
チーズ向け	125	4.0	89.9	0.3	0.3
合 計	42,057	1,357.0	100.6	100.0	100.0

備考 1) 買取乳量を除く

団体別受託乳量の状況

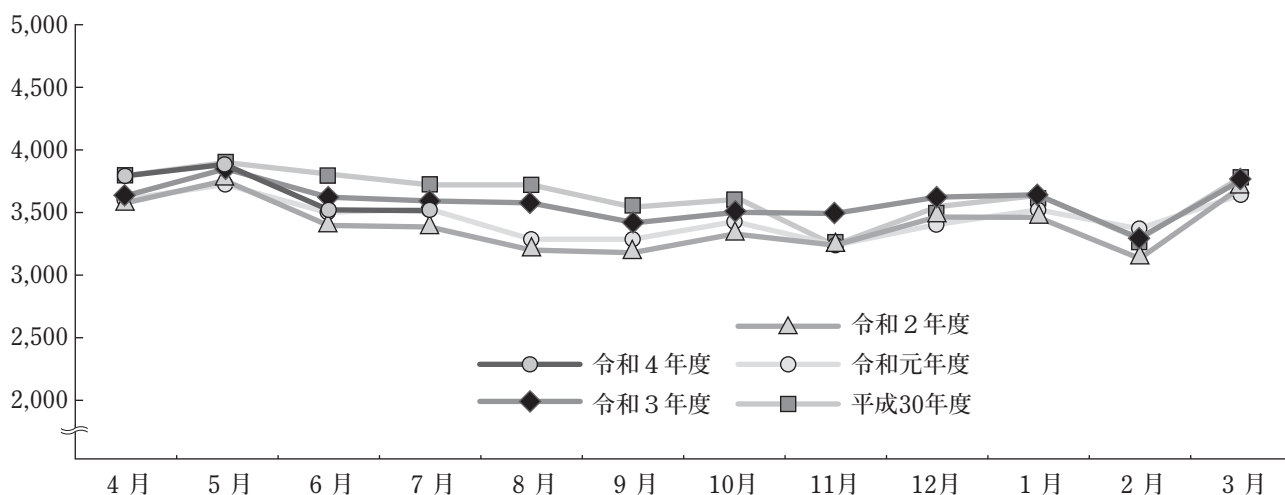
北海道：100.5%、都府県：100.2%

団 体 名	7 月 分		
	受託乳量 (トン)	日 量 (トン)	前年比 (%)
県 酪 協	3,434	110.8	95.4
全農福島県本部	1,585	51.1	101.4
合 計	5,019	161.9	97.2
東北生乳販連	42,057	1,356.7	100.6
全 国	606,611	19,568.1	100.4

月別受託乳量 県酪協 (トン)

年度\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
30年度	3,865	3,927	3,768	3,758	3,757	3,565	3,617	3,385	3,572	3,687	3,369	3,818	44,091
令和元年度	3,661	3,736	3,526	3,528	3,380	3,391	3,495	3,349	3,477	3,589	3,442	3,735	42,310
令和2年度	3,642	3,739	3,495	3,482	3,363	3,310	3,458	3,341	3,505	3,549	3,268	3,723	41,874
令和3年度	3,693	3,859	3,629	3,599	3,564	3,486	3,578	3,515	3,619	3,652	3,353	3,760	43,307
令和4年度	3,691	3,733	3,494	3,434									
前年比%	99.9	96.7	96.3	95.4									

単位・トン



令和4年度受託乳量の状況

令和4年7月の受託乳量は、県全体で前年比97.2%の実績でありました。

団体別の受託乳量は、本組合が3,434ト、前年比95.4%（対前年同165ト減）、全農県本部は1,585トの対前年比

101.4%（対前年同月22ト増）の実績でありました。

東北生乳販連の受託販売実績については、前年比100.6%となりました。

なお、全国の受託実績は対前年比100.4%となりました。

令和4年度用途別販売乳量の状況（東北全体）

東北全体の用途向け販売数量は、前年比で加工向けが121.2%、発酵乳向けが108.6%、生クリーム向けが119.2%と上回り、飲用向けが96.1%、学校給食向けが94.9%、チーズ向けが89.9%と下回って推移しました。

引き続き、福島県産牛乳・乳製品の消費拡大にご協力をお願い致します。酪王協同乳業では6月27日に、

新商品『酪王フルーツオレ』を期間限定で発売しました。20年前に発売し大人気だった“ビンのフルーツオレ”の酸味のきいたオレンジベースの味わいを再現しつつ、当時3種類だったフルーツを7種類に増やした、ゴクゴク飲める後味ススキリの乳飲料です。ご愛飲いただきますようよろしくお願いいたします。

年次別・月別支払乳価一覧（補給金・集送乳調整金を含む）

年 度	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10月	11月	12月	1 月	2 月	3 月	平均
令和4年度	109.973	110.973	112.420	111.282									
令和3年度	110.502	111.609	113.060	111.724	110.197	112.507	112.537	112.319	109.640	110.594	110.503	109.010	111.184
令和2年度	108.959	110.268	113.694	113.625	112.257	114.269	113.489	112.845	111.265	111.109	112.190	109.876	111.986
令和元年度	107.825	109.442	110.235	109.707	109.001	110.834	113.758	112.804	110.935	111.470	112.026	108.238	110.523
30年度	105.316	106.566	107.245	106.734	104.684	108.041	107.673	107.183	104.902	105.545	106.664	104.358	106.242

乳牛頭数調査集計表（公共機関を含む）

令和4年7月31日現在

地 区	酪農家戸数			乳 牛 頭 数									
	戸数	前年度戸数	前年比	育成	初妊	経 産 牛				合計	前年度頭数	前年比	1戸当り頭数
						乾乳妊娠	妊娠搾乳	空胎搾乳	小計				
県 北	戸 31	戸 35	% 88.6	頭 420	頭 191	頭 183	頭 438	頭 716	頭 1,337	頭 1,948	頭 2,179	% 89.4	頭 62.8
県 中	58	65	89.2	301	140	193	408	706	1,307	1,748	1,853	94.3	30.1
浜	7	7	100.0	84	37	34	69	104	207	328	333	98.5	46.9
県 南	38	40	95.0	555	327	277	619	949	1,845	2,727	2,892	94.3	71.8
合 計	134	147	91.2	1,360	695	687	1,534	2,475	4,696	6,751	7,257	93.0	50.4

地 区	月 別 分 娩 予 定 頭 数							販 売 乳 量				
	令和4年 8 月	令和4年 9 月	令和4年 10月	令和4年 11月	令和4年 12月	令和5年 1 月	令和5年 2 月	生乳 出荷 戸数	地域別販売乳量		1日1頭当り乳量	
									1日当り	1日1戸 当り	搾乳牛	経産牛
県 北	頭 117	頭 144	頭 107	頭 120	頭 139	頭 102	頭 83	戸 27	kg 33,334	kg 1,235	kg 28.9	kg 24.9
県 中	118	125	102	102	95	88	111	58	28,506	491	25.6	21.8
浜	27	21	19	20	20	15	18	7	5,087	727	29.4	24.6
県 南	174	175	170	169	162	184	189	37	43,939	1,188	28.0	23.8
合 計	436	465	398	411	416	389	401	129	110,866	859	27.7	23.6

第322回 県酪協乳牛市場成績

令和 4 年 8 月 9日開催

購買者数 20名（うち県外11名）

畜種	雌雄	成立数 (成立率)	最高価格 最低価格	平均価格 (前回比)	平均体重 (前回比)	平均単価 (前回比)
ET和牛	メス	7 (100)	409,000 313,000	365,714 (98)	96 (108)	3,798 (90)
	雄	17 (94)	466,000 206,000	383,882 (91)	108 (104)	3,566 (88)
乳牛	メス	1 (100)	5,000 5,000	5,000 (11)	62 (89)	81 (13)
	雄	37 (84)	120,000 1,000	61,622 (59)	69 (95)	899 (63)
交雑牛	メス	50 (93)	164,000 90,000	106,060 (76)	72 (100)	1,469 (76)
	雄	66 (92)	269,000 10,000	141,970 (85)	74 (96)	1,911 (88)

価格：円（落札価格） 率・比：％ 体重：kg

初生牛の畜種毎価格帯別分布表 （0は0.1～0.9万円、1は1.0～1.9万円、以下同様。尚、落札価格です。）

畜 種	雌雄	価 格 帯 (万円)																									
		<20	21	22	23	24	～	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	
ET和牛	メス									2				1			1	2	1								
	雄	1				1			1					1			4	2		1	2		2	1	1		
畜 種	雌雄	価 格 帯 (万円)																									
		<0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	
乳 牛	メス																										
	雄			4	2	3	1	1	4	3	6	4	2	1													
畜 種	雌雄	価 格 帯 (万円)																									
		<0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	22	24	25	26	
交雑牛	メス	2	2				2	3	2	2	5	8	3	3	7	4	5	2									
	雄		2	2	2		1		1	1	3	3	6	4	7	8	2	4	5	3	2	2	2	3	1	2	

組 合 の 動 き 8 月

8月1日	福島県内JA総務・企画担当部課長会議	8月24日	令和4年度福島県農業委員会等農政推進協議会臨時総会
8月4日	福島県獣医師会理事会		
8月9日	乳牛せり市場	8月25日	第5回理事会
8月10日	福島県ホルスタイン改良同志会役員会	8月25日	監事と代表理事等との定期的会合
8月19日	令和4年度畜産関係団体連絡協議会	8月26日	経営検討会
8月22日	福島県乳牛改良推進協議会幹事会	8月29日	日本ホルスタイン登録協会理事会 (WEB)
8月24日	福島県農業会議常設審議委員会	8月31日	福島県乳牛改良推進協議会理事会

理 事 会

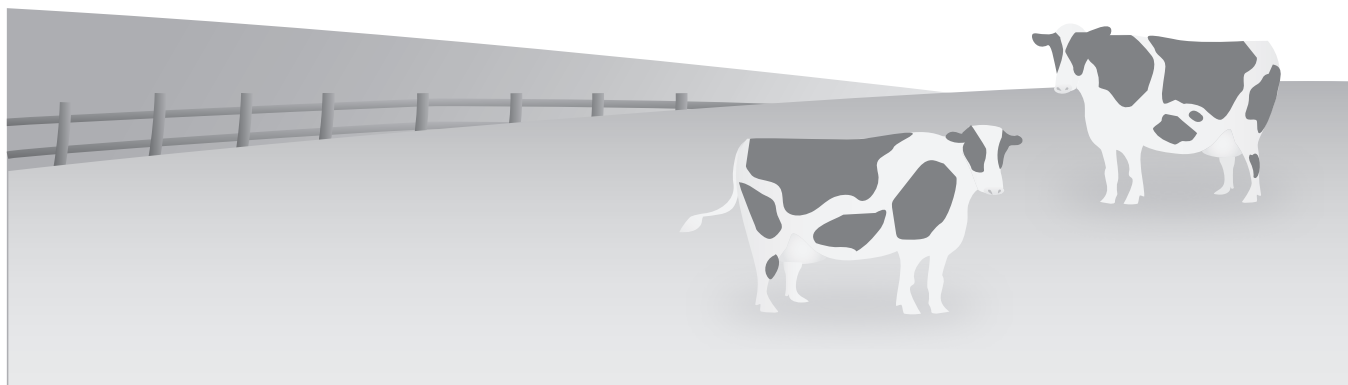
第5回 令和4年8月25日

議 案

- 第1号議案 農家経営安定資金貸出要領の制定について
- 第2号議案 販売仮渡金貸付規程の一部変更について
- 第3号議案 小野町谷津作の土地・建物の処分について

報告事項

- (1) 畜産高度化支援リース事業の貸付申請について
- (2) シャインコーストの進捗状況
- (3) 令和4年度第1・四半期収支状況報告について
- (4) 経営検討農家の現状について
- (5) 各市町村への本県酪農存続の危機に係る要望活動報告
- (6) 今後の日程について



販売課の紹介

部署紹介

生乳を取り扱う専門農協として、販売課は組合だけでなく県全体の取りまとめ役として下記業務を行っております。

- ・販売対策（東北生販福島支所業務、牛乳乳製品消費拡大事業、生乳委託者委員会事務局、安全・安心協議会事務局等）
- ・乳代精算業務（乳量照合、転送運賃照合、基準乳価算定業務、乳代精算業務等）
- ・生乳流通事業（集乳業務調整、CS 業務関連、各種保険手続き等）
- ・生乳検査事業（配分検査、参考検査、乳質改善事業等）
- ・乳質管理（乳質改善検討委員会事務局、乳質改善、バルクスクリーニング検査等）
- ・放射性物質に関する検査（県モニタリング検査、コース乳検査、個人バルク乳検査、CS / 乳業者原乳検査、検査費精算等）

担当職員は以下の通りです。

生産部長：柳沼 鉄治（生産部統括）

販売課長：角田^{すみだ} 淳也（販売課統括、東北生販福島支所業務、各種事務局）

森 直也（生乳流通、乳代精算、会計管理、東北生販福島支所業務）

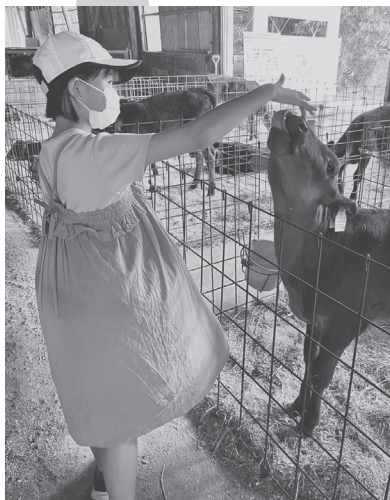
指導診療課兼務：松本 直美（生乳検査、放射性物質検査、会計管理）



特派員報告

“夏の思い出”

椎谷牧場
椎谷 美保



先日、大好きな小松田あこさんと息子さん、姪っ子さん、甥っ子さん
が牧場に遊びに来てくださいました。

あこさんとの出会いは、3年ほど前。

あこさんがラジオパーソナリティを務めるふくしまFMの朝の番組
「ここからモーニング」の福島人のコーナーに出演させて頂き、酪農家
としての私の思いを2日間に渡りお話させて頂いたことがきっかけでし
た。

それ以来ずっとあこさんとの親交が続き、今回ひさしぶりの嬉しい再
会となりました。

牧場見学は、終始和やかで楽しいひと時でした。

牛たちは優しくて動物が大好きなあこさんと子供さんたちのお人柄を
しっかりと感じ取り、すっかり心を開いていました。

抜群のコミュニケーション力で牛たちにモテモテだった息子さん、何
度も優しい笑顔で可愛いつて言ってくれた姪っ子さん、牛乳が大好きと
教えてくれたサッカー少年の甥っ子さん、命の大切さや酪農の仕事につ
いて子供さん達へしっかりと伝えてくれていたあこさん。

牛たちも優しく話しかけてもらったり撫でてもらったり、とても嬉し
そうな様子でした。

微笑ましかった出来事や心打たれた場面、また新たな発見もあつたり
と、私自身もとても貴重な経験をさせて頂きました。

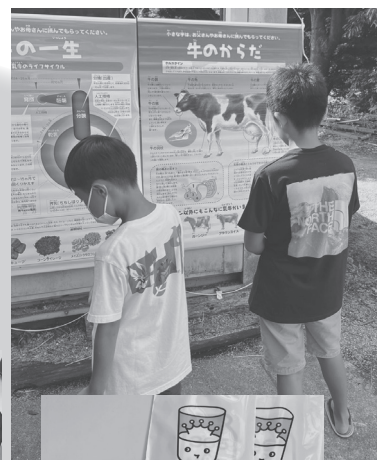
酪農に興味を持ってくださり、そして椎谷牧場のみんなをたくさん可
愛がってくれて、本当にありがとうございました。

見学後は、お菓子と酪王製品シリーズを準備させて頂きました。

組合の皆様からは、モーモースクール用のタペストリーの貸し出しや
グッズのプレゼントのご配慮も頂きました。

いつもながら、大変お世話になりました。

私の酪農家人生において、大切な思い出がまたひとつ増えました。

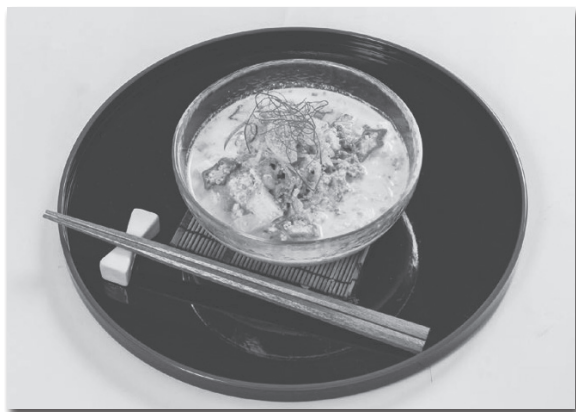


福島県牛乳普及協会
令和3年度
牛乳・乳製品利用料理コンクール
全国各地の受賞レシピをご紹介します



簡単！ぶっかけ冷や汁そうめん

宇部フロンティア大学付属 香川高等学校
福重 絢女さんの作品



材料

(材料：4人分)

- ・そうめん……………3束
- ・山芋……………100g
- ・ねぎ……………3本
- ・きゅうり……………1/2本
- ・オクラ……………4本
- ・みょうが……………1個
- ・鶏ささみ……………60g
- ・しょうが……………1片
- ・すりごま……………20g
- ・糸唐辛子……………適量

- A 〈カッテージチーズ〉**
- ・牛乳……………500g
 - ・酢……………大さじ3
- B**
- ・練りごま……………100g
 - ・牛乳……………300ml
 - ・めんつゆ……………150ml
 - ・鶏ゆで汁……………適量

●作り方

- ① Aの牛乳を沸騰直前まで温め、火を止めて酢を入れ再度沸騰させる。
- ② ザルにさらしを置き、①を流し入れ冷えたら絞る。
- ③ オクラを塩茹でし斜めに切り、みょうがは薄く斜め切りにする。
- ④ 山芋をサイコロ状に、ねぎは小口切り、きゅうりは薄く輪切りにする。
- ⑤ 生姜と鶏ささみを茹で、手で細かくさく。
- ⑥ ボールにBを入れてよく混ぜ冷やす。

- ⑦ そうめんを茹でてザルに上げ冷やす。
- ⑧ ⑥に②の半量と④を入れよく混ぜ、⑤を加える。
- ⑨ ⑦を器に盛り、上から⑨をかける。
- ⑩ 仕上げに③と②の半量を飾り、すりごまをかけ糸唐辛子を乗せる。

ポイント

食欲のない時でも食べられるように、そうめんと冷やし汁を合わせました。野菜がたっぷりですが、牛乳やチーズを入れることによって、誰でも美味しく食べられるよう工夫しました。

『特派員 報告』大募集

毎月、県内各地の情報を皆さまから提供いただき、共有していきたいと思います。ちょっとした出来事、地域にあるお店の紹介などなど情報提供をお願いします。

連絡先

E-mail : kei-masiko@fukuraku.or.jp

F A X : 0243-33-1103



『ほっとMilk』投稿募集について

1. テーマは自由（ほっと(＾＾)する話題がいいですね）
◎文章だけでも結構です。
◎写真があると最高です。
2. 受付（常時受け付けしています）
メール・FAX・事務所経由・直接持参、何でもOKです。
E-mail : kei-masiko@fukuraku.or.jp
F A X : 0243-33-1103

発行者 福島県酪農業協同組合 発行責任者 常務理事 佐藤 幸光

〒969-1103 福島県本宮市仁井田字一里壇17番地 TEL 0243-33-1101 FAX 0243-33-1103 URL <http://www.milk.fukushima.jp>